

様式第1号（第5条、第7条、第7条の2関係）

工 場 ・ 危 険 物 調 書						
建築主の氏名					工事種別	新築・増築 改築・移転 用途変更 その他
建築位置						
用途地域	第一種低層住居専用地域・第二種低層住居専用地域・第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域・第一種住居地域・第二種住居地域・準住居地域 近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域・工業専用地域				防火地域	防火・準防火 指定なし
工 場 調 書						
	申請部分	申請以外	合計	作業場の面積		
敷地面積	m ²	m ²	m ²	申請部分	申請以外	合計
建築面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
築造面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
延べ面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
業 種			原 料 名			製 品 名
申請部分の用途						
作業方法						
危険物	イ 裏面危険物調書による ロ なし					
設 備 の 概 要		機 械 の 種 類			台数	出力 (KW)
	新 設					
	小 計				1	
	既 設					
	小 計					
	合 計				1	
危 険 物 調 書						
事業内容					敷地面積	m ²

建築物の 延べ面積	m ²		貯蔵場の 延べ面積	m ²		処理場の 延べ面積	m ²	
	危険物の種類等				危険物の貯蔵量及び処理量			
	種類	種別・品名	性質	用途	最大貯蔵量	係数	最大処理量	係数
地 上								
地 下								
危険物の貯蔵・処理 方法その他の参考 となる事項								

- 注1 工作物の場合は「建築主」を「築造主」と、「建築位置」を「築造位置」と、「建築面積」を「築造面積」と読み替えて記入すること。
- 2 「業種」の欄には、工場業態がわかるように記入すること。
- 3 「原料名」の欄には、工場に搬入する原料の品名を記入すること。
- 4 「作業方法」の欄には、原料から製品に至るまでの作業の流れの図解を記入すること（機械の種類・原料・製品名等を付記すること）。
- 5 「危険物の種類等」の欄には、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「政令」という）第116条第1項の表、消防法（昭和23年法律第186号）別表及び危険物の危険に関する政令（昭和34年政令第306号）別表第3に掲げる名称を記入すること。
- 6 「危険物の貯蔵量及び処理量」の「係数」の欄には、準住居地域、商業地域又は準工業地域内に建築又は築造する場合に限り政令第130条の9第1項の表の用途地域の欄に定める数量を1として、それに対する比を記入すること。
- 7 単位は、メートル法によること。